

令和6年度 ネットパトロールの実施状況等について

1 趣旨

インターネット上のいじめや誹謗中傷、犯罪被害から児童生徒を守るため、早期発見・早期対応の観点から、SNSへの不適切な書き込み等について検索、監視等を行う。

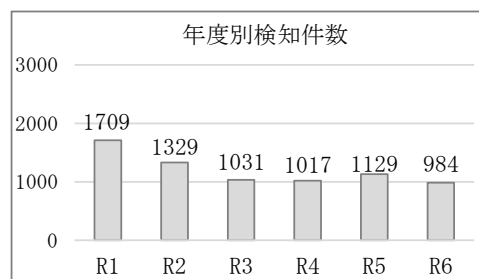
2 対象校

県内全ての公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校 計592校

3 調査結果

①校種別の検知件数

	対象校数	検知校数	検知件数	%
小学校	360	32	41	4.2
中学校	153	94	528	53.7
高等学校	64	56	412	41.9
特別支援学校	15	2	3	0.3
合計	592	184	984	



※中学校には、義務教育学校及び中等教育学校を含む（以下同じ）。

②内容別の検知件数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合 計	
					件数	%
いじめ・中傷	2	25	25	0	52	5.3
不法行為	0	6	1	0	7	0.7
トラブル	0	9	4	0	13	1.3
個人情報の流布	0	290	202	0	492	50.0
その他	39	198	180	3	420	42.7
合計	41	528	412	3	984	

◇いじめ・中傷：児童生徒、教職員、親など他人に対する悪口や中傷等

◇不法行為：飲酒、喫煙等の違法行為や著作権侵害の可能性のある画像等の投稿等

◇トラブル：自殺願望、自傷行為や家出・家出受け入れ等

◇個人情報の流布：自身の個人情報の記載、他者の個人情報などの記載

◇そ の 他：学校に関する話題（悪評）、校則違反や不法ではないが不適切な行為・行動等
著作権・肖像権等に抵触する可能性のある投稿

4 不適切な事例とその対応

※リスクレベル（ ）は令和6年度の件数

「高」・・・犯罪予告や児童生徒の生命に関わる事案で緊急性の高いもの（1件）

「中」・・・緊急性はないものの、早期の指導・対応等が望ましいもの（43件）

「低」・・・緊急性はないが、必要に応じて適切な指導対応が望ましいもの（940件）

<トラブルの事例>（高レベル）

（事例）自殺願望に関する投稿で、「明日になるか明後日になるか定かじゃないけど死ぬるかも・・・」など緊急性が高い内容をInstagramに投稿している。

（対応）投稿した生徒の在籍校に情報提供を行い、管理職、担任、施設関係者（家庭環境により施設で暮らしているため）で対応を行った。

<いじめ・中傷の事例> (中レベル)

(事例) 本人の知らないところで、氏名や顔写真などの個人情報が記載されている。(高校)

(対応) 投稿した生徒の在籍校に情報提供し、投稿者を特定して当該生徒から事情を確認し指導した。

<不法行為の事例> (中レベル)

(事例) ・車道の可能性がある場所で踊っている動画、停車中の車の前で撮影した画像が掲載されている。(高校)

・廃墟となっている建物に侵入した可能性のある画像(5人組の集合写真)が投稿されている。(中学校)

(対応) 投稿した生徒の在籍校や所管の市町村教育委員会に情報提供し、投稿者を特定した場合は当該生徒から事情を確認し指導、特定できない場合は全体への指導を行った。

<トラブルの事例> (中レベル)

(事例) 自傷行為を行ったことを示すような表現や医薬品の画像を掲載するなど自殺願望に関する投稿が複数回ある。(中学校)

(対応) 所管の市町村教育委員会に情報提供を行った。

<その他> (中レベル)

(事例) 同級生にいじめられ、教師にも相談したが解決できずに不満であり、入学を後悔している投稿をした。(特別支援学校)

(対応) 当該学校の管理職に情報提供を行った。

5 情報モラルの向上に向けた取組状況(政令指定都市である岡山市を除く)

- ・各校の生徒指導担当者等を対象とした県教委主催の研修会において、スマホ等の利用の実態を周知し、教科指導の場面だけでなく、外部講師の出前授業を行い、各校において情報モラルを育成する教育の推進と充実を図っている。
- ・県警と連携した「非行防止教室」や、SNS等による特殊詐欺に関する啓発チラシ、小学生と保護者が一緒にスマホやネットについて考えることができるチラシを作成し啓発を行っている。
- ・SNS上のいじめ等の事例も含めた授業を行うなど、児童生徒が情報を正しく判断し、行動する力を育成している。
- ・中核教員の養成研修を経た教員を中心に、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育を実施している。
- ・校内研修資料を作成し、各校に提供している。